

黒部市長メッセージ

市民の皆様に、過日の「大雪対応」について、状況のご報告と今後のお願いについて申し上げます。

まず、1月8日から降り続いた降雪についてであります。黒部消防署の観測地点で最大積雪量128センチ、宇奈月消防署観測地点で最大積雪量165センチを観測し、35年ぶりともいわれている、近年に例のない記録的な大雪となりました。

とりわけ、9日の土曜日には、1日で1メートル近くの降雪量を観測し、「集中豪雪」とも言うべき事態となりました。市内各所で道路除雪が追いつかず、市民の皆様には多大なご不便をおかけいたしました。除雪車のフル稼働はもとより、市内関係業者の昼夜をいとわない懸命の除雪作業など、市として最大限の対応を図った点に関しましては、ご理解を賜りたいと思っております。今後、さらなる豪雪に対する備えや対応の必要性を痛感した次第であります。

今回、各家庭における連日の雪かき作業、あるいは地域ぐるみの除排雪作業など、多くの方々に率先してご協力をいただきました。さらに、民生委員・児童委員の皆様には、高齢者世帯をはじめ要支援者の方々の安否確認などにあたってくださいました。そのほか、消防団員や地区自治振興会の皆様など、今回の大雪対応にご支援、ご協力賜りました多くの市民の皆様に、深甚なる敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

なお、今回、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など支援を必要とする皆さまにとって、屋根雪下ろしが切実な問題であることを改めて認識いたしました。市ではその費用に対する助成制度を設けているところであり、加えて屋根雪下ろしについて相談を受けていただける事業者のリストを作成しましたので、周知を図ってまいりたいと考えております。

このあとも、大雪に見舞われることがあるかもしれません。今回の事態を教訓としつつ、今後とも、市として最大限の対策を講じてまいります。市民総ぐるみの力が不可欠であります。引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年1月13日
黒部市災害対策本部長
黒部市長 大野 久芳